

平成30年度新ひだか町新公立病院改革プラン評価調書

大項目	小項目	方法・内容等	実施機関	事業期間	取組内容	評価	備考
経営の効率化	1 医師の確保	大学医局・民間紹介会社等の情報を活用	静内	H28～32 継続	札幌医科大学等医育大学、関係機関、民間紹介会社を介して募集をしておりますが、全道的な医師不足を背景に、確保は困難な状況になっています。特に内科医師の1名体制が続いており、医師確保が急務となっております。	H29年度 B H30年度 B	医師数 計6名 循環器科 2名 内科 1名 外科 2名 婦人科 1名
			三石	H28～32 継続	常勤医は充足されており、土日祝祭日等に宿日直業務を行う出張医についても、関係機関及び民間紹介会社を通じ、概ね充足されています。	H29年度 A H30年度 A	医師数 計2名 外科 1名 内科・小児科 1名
	2 看護師の確保	随時募集の実施	静内	H28～32 継続	ハローワーク及び北海道看護協会、町内主要施設設置のデジタルサイネージにて看護師募集の周知を行っており、随時応募を受けており、概ね充足している状況にあります。	H29年度 A H30年度 A	
			三石	H28～32 継続	ハローワーク及び北海道看護協会、民間紹介会社を利用し看護師募集の周知を行っており、また、町立静内病院と人事の連携を図っておりますが、目標達成に至っていない状況です。	H29年度 B H30年度 B	
	3 医療スタッフの確保	情報収集・計画的な採用	静内	H28～32 継続	現在、医療技術職は充足されており、積極的な募集活動は行っておりません。ただし、看護助手は、不足していることからハローワーク及び町内主要施設設置のデジタルサイネージにて看護助手募集の周知を行っており、随時応募を受け付けている状況です。	H29年度 B H30年度 B	
			三石	H28～32 継続	平成30年度より薬剤師業務について、当院を定年退職された薬剤師に委託し、かつ、ハローワークへ募集をしておりますが、応募がなく採用に至っていない状況です。	H29年度 B H30年度 B	
	4 医療機器の計画的な整備	費用対効果・使用頻度等を勘案した計画的な整備	静内	H29検討 H30～32 実施	病院開設時及び循環器科開設時に導入した設備及び保守期間終了に伴う更新対象機材が増えてきておりますが、厳しい財源状況において更新が遅れており、高額医療機器が一斉に更新時期を迎える深刻な状況となっております。	H29年度 C H30年度 C	
			三石	H29検討 H30～32 実施	病院開設時に導入した設備及び保守期間終了に伴う更新対象機材が多くなっており、厳しい財源状況であるため、更新が遅れている状況です。	H29年度 C H30年度 C	
	5 物流管理手法の見直し	診療材料の共同購入	静内・三石	H29検討 H30調整 H31～32 実施	平成30年度より、診療材料のコストを削減するため、両病院にて共同の単価契約を行いました。 また、最低購入単位で購入しても使用期限切れとなる診療材料については、両病院で分け合うことで、診療材料費の削減を図っています。	H29年度 C H30年度 A	
	6 経営感覚に富む人材の確保	病院事業経営に精通した人材の育成	静内・三石	H28検討 H29～32 実施	医事部門に関わる人材が確保できておらず、経営に精通した人材の育成に至っておりませんが、平成29年度から診療報酬管理に精通した人材を養成するため、2年間の研修を受講させています。	H29年度 B H30年度 B	

平成30年度新ひだか町新公立病院改革プラン評価調書

大項目	小項目	方法・内容等	実施機関	事業期間	取組内容	評価	備考	
経営の効率化	7	医事業務の充実	医事部門の充実強化	静内・三石	H29検討 H30～32 実施	医事部門に専任担当職員を配置していない状態が長く続いており、総務省経営アドバイザーからも指摘を受けておりますが、現在のところ採用に至っておりません。	H29年度 C H30年度 C	
	8	医業収益の確保	効果的な施設基準の選択	静内	H28～32 継続	今後の病床運営の展開を考慮し、救急告示病院及びデータ提出加算届出に関する準備を行いました。	H29年度 A H30年度 A	
				三石	H28～32 継続	担当する職員へ必要な専門研修を受講させ、認知症ケア加算の届け出を行っております。	H29年度 A H30年度 A	
	9	適切な診療報酬の請求	職員のスキルアップ・各種説明会・研修会の参加及び実施	静内	H28～32 継続	平成30年診療報酬改定の説明会を院内全スタッフを対象に実施しました。また、職種に応じて必要な説明会の受講を行っております。	H29年度 - H30年度 A	診療報酬改定年 H28 H30 R2
				三石	H28～32 継続	平成30年度診療報酬改定の説明会を院内全スタッフを対象に実施しました。また、職種に応じて必要な研修会を受講させております。	H29年度 - H30年度 A	診療報酬改定年 H28 H30 R2
	10	病床の効率的運用	診療部門・看護部門・地域連携部門の連携による効率的病床管理	静内・三石	H28検討 H29～32 実施	町立病院全体で、効率的な病床の配置計画について、設備改修の投資規模を含め調整を進めることとしています。	H29年度 C H30年度 C	
	11	効率的な人員配置	業務内容・方法の改善を研究	静内	H28～32 継続	手術の際に医療技術者が職種を超えて可能な業務を行うことで、従来より少ない人員で実施しております。また、三石国保病院での検査・手術及び医療技術者不在の際に、医師及び医療技術者の派遣を行っております。	H29年度 A H30年度 A	
				三石	H28～32 継続	看護助手業務（早出、日勤、夜勤、遅出を廃止）の改善を図り、人員を縮小しました。更に、効率的な人員配置となるよう検討しています。	H29年度 A H30年度 A	
	12	費用分析の強化	原価計算システムの導入	静内・三石	H29検討 H30～32 実施	原価計算に必要な医事分析に関するノウハウが不足しており、医事部門の充実強化と併せて実施する必要があります。	H29年度 C H30年度 C	
	13	その他管理的経費の節減	費用に対する意識の改善	静内	H28～32 継続	各部門の責任者で構成している院内定例会議にて経営状況を周知し、病院経営への意識高揚を図っています。	H29年度 B H30年度 B	
				三石	H28～32 継続	各部門の責任者に構成している院内定例会において、経営状況を周知し、病院経営への意識高揚を図っています。	H29年度 B H30年度 B	
	14		ボランティア活動の推進	静内・三石	H28検討 H29～32 実施	院内の各種サービスに対応していただけるボランティア団体の結成には至っておりません。	H29年度 C H30年度 C	

平成30年度新ひだか町新公立病院改革プラン評価調書

大項目	小項目	方法・内容等	実施機関	事業期間	取組内容	評価	備考
再編・ネットワーク化	地域連携の推進	地域連携室の充実	静内	H28～32 継続	町立静内病院に地域連携室を設置し、社会福祉士1名及び看護師1名、事務補助職員1名を配置し、各種相談・地域連携機能の充実を図りました。（平成30年度に社会福祉士1名増）	H29年度 A H30年度 A	
		介護・福祉行政に精通した職員の配置	静内	H29～32 実施	平成29年度内で社会福祉士の公募を行い、平成30年度に1名を採用いたしました。	H29年度 B H30年度 A	
		地域の医療機関とのモダリティ共同利用	静内	H28～32 実施	従来から実施している当院患者の町内他病院MRIでの撮影依頼及び町内内科・歯科診療所からの町立静内病院CT撮影依頼の対応を行い、高額モダリティ機材の共同利用を図りました。	H29年度 A H30年度 A	
		新ひだか町バーチャル総合病院構想の実現	静内・三石	H28～32 継続	既存システムの運用にとどまっておらず、より廉価で使いやすくセキュアなネットワークの構築を関係ベンダー等と模索しております。	H29年度 B H30年度 B	
	病院機能の向上	新ひだか町立静内病院循環器センター（仮称）の開設	静内	H28検討 H29設計 H30・31 建設 H32実施	循環器科医療の質の向上を目指し、地域住民の高齢化に対応した医療機能を充実させる循環器センター（仮称）構想については、平成28年度までに院内で組織する整備検討委員会において委員会で内容整理を行いました。また、平成30年度は引き続き委員会で出された提案について運営可能性を検討しております。 なお、平成28年度より出張医による脳神経外科外来を開設しております。	H29年度 B H30年度 B	
	財政支援の実施	近隣町の費用負担の実施	静内	H28～32 継続	平成27年度から引き続き新冠町から新冠町民の入院患者に係る病棟運営負担金を受入れております。また、婦人科診療を維持するため利用人数に応じた婦人科運営負担金も併せて受入れております。	H29年度 A H30年度 A	
経営形態の見直し	経営改善の実施	適正な収益の確保とコスト管理の徹底	静内	H28～32 継続	適正な収益の確保を図るため、臨床検査適正化委員会において、毎月の査定状況を分析し、収益の確保に努めました。また、物品コストの見直しを図るため、院内に物品委員会を設置し、診療材料の見直しを推進しました。	H29年度 A H30年度 A	
			三石	H28～32 継続	療養病床における医療区分2、3の適正な管理に伴う収益の確保を継続的にを行い、各部門で診療材料の適正な管理を図っております。	H29年度 C H30年度 B	
	経営管理組織の設置	改革プランに基づき経営改善を進める「経営企画室」（仮称）の設置	静内・三石	H29 検討・実施 H30～32 実施	経営改善のほか、医療情報システム管理部門や診療情報管理部門などを併せた組織体制の見直しを検討しています。 また、病院事業だけではなく、町有福祉施設を含め総合的に検討されており、それも踏まえた組織体制を検討します。	H29年度 C H30年度 C	
	管理機能の見直し	2病院の管理機能について業務体制の見直し	静内・三石	H29検討 H30試行 H31・32 実施	今後、北海道医療構想に基づく病床再編や人口減少に伴う町立病院のあり方について、検討を進めています。	H29年度 C H30年度 C	

平成30年度新ひだか町新公立病院改革プラン評価調書

大項目	小項目	方法・内容等	実施機関	事業期間	取組内容	評価	備考
	24	病床機能及び運営体制の見直し 医療需要と経営効率を考慮した病床機能及び運営体制の検討	静内・三石	H29検討 H30調整 H31・32実施	病床機能及び運営体制の検討については、病院事業だけではなく、町有福祉施設のあり方も含め、総合的に検討されており、必要な情報提供を行っています。	H29年度 B H30年度 B	
地域医療構想を踏まえた役割の明確化	25	医療機関等との連携 情報交換・連携の強化	静内・三石	H28継続 H29～32 充実	町内の医療機関と顔の見える連携を目指し、感染対策委員会及び医療安全管理委員会主催の勉強会に地域の無床診療所のスタッフも参加しています。 また、町の在宅介護連携事業を受託し、介護・医療関係者を集めた勉強会を年1回開催しております。	H29年度 A H30年度 A	
	26	教育機関との連携 医療系大学等との連携・研修受入れ	静内	H28～32 継続	札幌医科大学医学部5年生の実習受入れを行いました。 また、地元中学校及び高校の医療職を志す生徒のインターンシップを実施しました。札幌医科大学医学部3年生の実習受入れは、胆振東部地震により中止となりました。	H29年度 A H30年度 A	平成30年度 医学部学生 5年生 5名
			三石	H28～32 継続	札幌医科大学医学部3年生の実習受入れを準備しておりましたが、胆振東部地震により中止となりました。	H29年度 A H30年度 -	平成30年度 医学部学生 3年生 3名 (地震により中止)
	27	住民の理解 広報活動の充実・強化	静内・三石	H28～32 継続	町立静内病院脳神経外科開設に関する情報提供を、町広報、デジタルサイネージ、まちづくり懇談会を通じて行いました。	H29年度 B H30年度 B	